

# 長崎県県央保健所感染症発生動向調査速報

## (第7週週報)

### ★トピックス：インフルエンザに注意しましょう。

県央保健所管内では、第7週のインフルエンザ報告が「56.75」と、第5週からインフルエンザが警報レベルの流行となっています。また、12月はA型が中心でしたが、年明け以降、B型の患者が増加しています。インフルエンザは、インフルエンザウイルスを原因とする気道感染症です。感染経路は、咳やくしゃみによる飛沫感染と、飛沫等に含まれるウイルスが付着した手指で自分の眼や口、鼻を触ることによる接触感染があります。1日から3日間の潜伏期間のあとに38度以上の発熱、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛、関節痛などの全身症状が突然現れます。これに続いて咳、鼻汁などの上気道炎症が起こり、約1週間で軽快するのが典型的な症状です。今後も手洗い・手指消毒、適切なマスクの使用、換気などの基本的な感染対策を励行し、予防に努めましょう。また、インフルエンザワクチンは、発症及び重症化を一定程度予防する効果があります。希望される方は、ワクチンを接種しましょう。

### ★トピックス：急性呼吸器感染症（ARI）に注意しましょう。

県央保健所管内では、急性呼吸器感染症（ARI）の報告が第7週「106.38」でした。インフルエンザが警報レベルとなってから、ARIの報告数も増加しています。急性呼吸器感染症（Acute Respiratory Infection:ARI）とは、急性の上気道炎（鼻炎、副鼻腔炎、中耳炎、咽頭炎）または下気道炎（気管支炎、肺炎）を指す病原体による症候群の総称です。インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、RSウイルス感染症などが含まれます。ARIに含まれるインフルエンザなどの感染症は、冬期に患者数が増加する傾向にあります。予防には、手洗いやマスク着用を含む咳エチケットなどの基本的な感染対策が有効です。ARIの中には、高齢の方や基礎疾患をお持ちの方が感染すると重症化するものもありますので、場面に応じた対策を心がけましょう。

### ○定点把握疾患（県央保健所）

※（―）は、報告なしです。

疾患名	前週 (6週)	今週 (7週)	備考	疾患名	前週 (6週)	今週 (7週)	備考
インフルエンザ	<u>58.00</u>	<u>56.75</u>	<u>警報</u>	ヘルパンギーナ	―	―	
新型コロナウイルス感染症	―	0.38		流行性耳下腺炎	―	―	
RSウイルス感染症	0.60	0.40		急性出血性結膜炎	―	―	
咽頭結膜熱	0.20	0.40		流行性角結膜炎	―	1.00	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.80	1.80		細菌性髄膜炎	―	―	
感染性胃腸炎	7.00	7.20		無菌性髄膜炎	―	―	
水痘	0.40	0.20		マイコプラズマ肺炎	―	―	
手足口病	0.80	0.80		クラミジア肺炎	―	―	
伝染性紅斑（リンゴ病）	―	―		感染性胃腸炎（ロタウイルス）	―	―	
突発性発しん	0.20	0.40		急性呼吸器感染症（ARI）	109.63	106.38	

### ○県央保健所管内の1～5類感染症の発生状況（結核を除く）7週

5類：梅毒 1件